

0483
0482

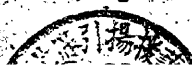
3
172

世
保

五

部隊原簿

第七九師團

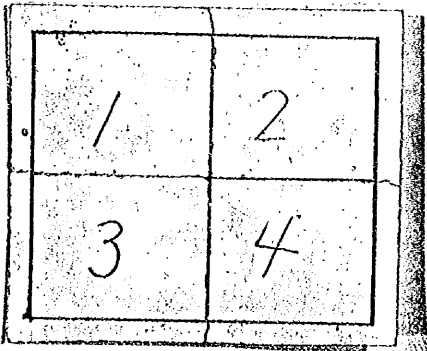


部隊原簿

第七九師團



分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0467
0468

第三軍第七九師團司令部部隊名第七九師團司令部

通稱號奏二一一五二

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員入制編	隊別	隊長名	戦開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	滿洲残留	收容名
<p>二〇、八、一〇、第一一號 隊の移設のため陸軍部案のため 國境附近に移動完了す 師團は國境に位置し業務を 遂行すれどもソ軍の空襲激 んざれば南滿に移動す上官 の一部は對戰車肉攻に參加 す</p> <p>八、一五、停戦</p> <p>八、一六、武裝解除のため 南滿より國境へ移動 工兵第九八師團へ集結 (約一〇名位)</p> <p>八、二〇、師團長參謀長自 進軍にて國境へ 同日部隊解散し主力に國境 集結のため行軍にて國境出 發</p> <p>八、二三、間島にて作業隊 編成 入ソ途中逃亡約一三名を出 す 小隊中尉以下約一〇名出 張のまき行方不明 逃亡約二〇名 作業第三大隊編成 七九師團司令部一五名 兵隊部三〇名 憲兵一〇〇名 飛行中隊二〇名 朝鮮一四三部隊三〇〇名</p> <p>九、一三、セミノノカ地底 第一三收容所 一部は作業第五大隊に編入</p>		<p>十九年以降</p>	<p>十九年以降</p>	<p>302</p>	<p>別</p>	<p>隊長名 (内は先代を示す) 中將 太田 貞昌 少佐 高野 敏男</p>	<p>戦開入 時員</p>	<p>駐屯地 平 時 戦 時 們 國 們 國 們 南 們 南</p>	<p>戰鬥間の状況及損耗</p> <p>將校以下四名南滿に殘留す 八、九、國境國民學校に司令所開設 八、一三、敵機の出撃を受く 八、一五、夜南滿に移動引續き對空戰鬥、 八月二七日よりソ軍國境に侵入持続のま で停戦</p> <p>八、一七、國境で武裝解除</p>	<p>終戦後の人員變動</p> <p>八、一五、自進軍にて國境に集結し業務は 南滿に殘留す上官兵は古茂山收容所へ 歸長は延吉收容所へ</p> <p>八、二三、間島にて作業隊 編成のため間島に行き其の まき行方不明 八、二三、間島にて將校女子家屬と下士官 兵と區分され收容さる</p>	<p>作業大隊より 入ソ返の變動</p> <p>八、二二、國境一四師 一一、一三、國境出發 一一、二八、糧秣到着 一一、一〇、糧秣ヨリクラス キ</p>	<p>入ソ人員</p>	<p>滿洲残留</p>	<p>收容名</p> <p>ラエド ウオロ ライダ</p>

名第七九師團司令部

通稱號奏二一一五一

郵便所名

部	器	兵	部	謀	參	部	理	管	部	官	副	別	隊
部長 大尉 小泉 知寛		中尉 鈴木 正二 大尉 永山			參謀長 大佐 品部 孝晴 參謀 中佐 平田 五郎			管理部長 准尉 庄子 良平 德間 一夫 川原田 次郎				中將 太田 貞昌 少佐 高野 敏男	隊長 名 (内は先代を不示)
60		12	250	260	20			36	36				戦 時 員 關 人
													駐 屯 地
													戰 時 員 關 人
													戰鬥間の状況及損耗
													終戦後の人員變動
													作業大隊より 入「ソ」迄の變動
													入「ソ」人員
													滿洲 殘留
													收 容 所 名
													所 人
													死 亡
													滿 洲 「ソ」 領 計
													歸 還 人 員
													狀 況 不 明 者 數

將校以下四名瀋陽に殘留
八、九、隨同國民學校に司令所開設
八、一三、敵機の爆撃を受く
八、一五、夜南陽に移動引續き航空機を
八月一七日よりソ連軍に侵入待機のまま
停戦
八、一七、隨同で武装解除

下士官二名兵隊受領のため開路に行き其の
まゝ行方不明
八、二二、開路にて將校女子軍屬と下士官
兵と區分され救済さる

八、一五、自衛軍にて隨同に移駐機部隊は
瀋陽に殘留下士官兵は古茂山救済所へ
歸兵は延吉救済所へ

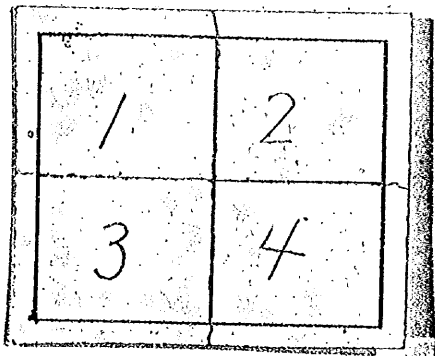
八、一六、南陽野戦倉庫に在りて戰鬥配備
八、一七、停戦

將校兵と區分さる

司
今
初

0469

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0420
0421
0422
0473

第三軍第七九師團司令部部隊名 第七九師團司令部

通稱號 奏二二二一五

郵便所名

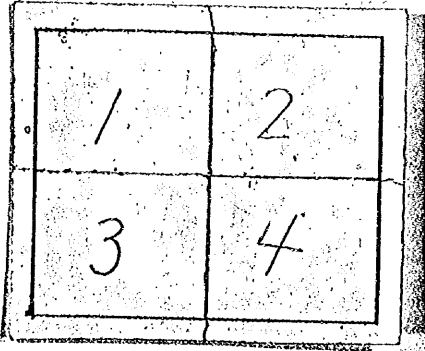
全般概要		轉入	轉出	員人編	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソの變動	入ソ人員	隊別計	滿洲殘留
<p>八、一、一、羅南にて編成</p> <p>八、二、二、會澤三三四部隊にて教育開始</p> <p>八、一〇、團内にて南滿附近の陣地構築に従事し、半ば砲彈受領せず、團内五隊として編成</p> <p>八、一七、團内集結武裝解除</p>		十九年以降	十九年以降		<p>隊長名</p> <p>()内は先代を示す</p> <p>部長 大尉 今泉 清</p> <p>少尉 菅原 武夫</p>	6	平時			<p>八、一〇、團内にて南滿附近陣地構築に従事し、半ば砲彈受領せず、團内五隊として編成</p> <p>八、一七、團内集結武裝解除</p> <p>團内より間島駐在所に入り、當中隊將校中一名作業大隊の長となる</p>				
二第砲連噴	隊中一第砲連噴	信	通	部	務	法	部	醫	獸	別	隊	長	名	
少尉 村岡 德雄 少尉 中西 重男	少尉 竹内 伯次 少尉 河内		中尉 鈴木											
南 羅	南 羅													
八、一七、團内にて武裝解除	八、一七、團内にて武裝解除													

0474

司
司
司

30

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

8472
0477
0478

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 歩兵第二八九連隊 通稱號 奏二二一一五二 郵便所名		全般概要 二〇、三、七、 羅南にて編成 六、三〇、羅南本部南隊 第一大隊豊原 第二大隊南田 第三大隊南田 附近の陣地構築開始 八、九、開戦と同時に羅南 附近に於て戦斗 八、一五、傘直轄肉攻大隊 として南田に待機 第三大隊南田附近の陣地構築 八、一七、停戦 全員南田に集結 八、二六、南田に收容 一〇、三、間島出發クラン を經由入ソ、クランキート ワラジラー、コムソモリスク 第一四分所 (松山圭介カザン地獄七九 收容所に在りて待命なり)	轉入 十九年以降 二〇、二、一四 東部教育隊 二〇、二、二四 豊一機士、 二〇、二、二七 歩七三補 二、三、四七 輜重七九 二〇、六、三〇 羅南路病 七九師團 歩八〇補 七九師團馬隊 二〇、四、八 歩二二二 羅南兵務部 成興兵務部 五、六 歩一六補 二〇、四、一五 歩一六補 二〇、五、一七 仙師歩補 三六三 歩兵一五八 不明 二〇、九	轉出 十九年以降 二〇、六、九 羅南師管區 歩一補 七六 二〇、六、二四 山砲七九 歩二九一 歩二九〇 輜重七九 二〇、六、三〇 羅南路病 二〇、七、九 旅團一三九八 二	3544 員人副編	隊別 連 隊 本 部 大佐 松山 圭介 副官 大尉 鈴木 義雄 中尉 佐藤 前田 少尉 内山 清一 副官 実戸 成實 孝順 里 豊	關人 戰時 200-250	駐屯地 南 羅 陽 南	戰鬥間の状況及損耗 終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員 隊別 計	満洲残留	収容所
---	--	--	--	--	--------------	---	---------------------	-----------------------	------------------------------	------------------	-----------------	------	-----

少兵第二八九連隊

通稱號 奏二一一五二

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	大佐 松山 圭介	大尉 鈴木 義雄	官 少尉 内山 清一	実戸	成實 孝順	尉 佐藤 前田	尉 佐藤 前田 信敬
戦 闘 人 時 員	200—250						
駐屯地 平 時	南 羅	里 豊					
戦 時	陽 南						
戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗							
終 戦 後 の 人 員 変 動							
作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動							
入「ソ」人員 隊 別 計							
滿 洲 殘 留							
收 容 所 名	アルチョム クラスキ ウラジオ コムンモリスク						
所 人							
死 亡							
滿 洲 以 前 より領							
計 者 状 況 不 明 数							

二〇、三、七、
 二〇、三、七、
 六、三〇、隊隊本隊南
 第一大隊隊
 第二大隊隊
 第三大隊隊
 附近の陣地構築開始
 八、九、閉隊と同時に南
 附近に於て戦
 八、一五、金正路肉攻大
 として南陽に待機
 第三大隊隊附近の陣地
 築
 八、一七、停戦
 全員固陣に集結
 八、二六、間島に收容
 一〇、三、間島出發タラス
 キ經由入ソ、タラスキド
 ウラジノールコムソリスダ
 第一四分所
 (松山圭介カザン地獄七九
 收容所に在りて健在なり)

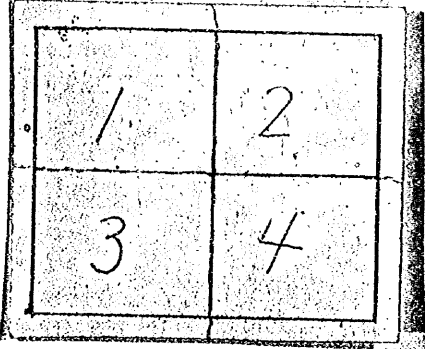
3544

隊中銃關機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊連
	中尉 佐前 信敬	中尉 佐藤 前田	成實 孝順	副官 穴戸 少尉 内山 清一	大佐 松山 圭介 副官 大尉 鈴木 義雄
		200—250		里 豊	南 羅
	陽 南				陽 南
	經南より南陽附近にて陣地構築				
	鮮人見習士官一名、伍長一名、他四名計六名連亡				
	八、二五、間島にて一〇大隊中尉岸川文彦				

0479

289 V

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

隊名 歩兵第二八連隊

通稱 號奏二一一五二

郵便所名

別隊	第一歩兵砲小队	第二大本部	第四中队	第五中队
隊長名 (内は先代を示す)		大尉 櫻井 辰二	見士 石川	少尉 木村 見士 藤片
開人				
駐屯地		陽南		
戦時				
戦時				
戦闘間の状況及損耗				南陽附近の陣地構築 八、一五、三軍直轄肉攻大隊として南陽に 準備待機中停戦となり 八、一七、陽行にて武装解除
終戦後の人員變動				九月間陽に於て將校及び下士官兵別々に放 送される武装解除の時数累計一〇〇名過り
作業大隊より 入ソ連の變動				九、三、間陽にて 第三大隊編成 長少尉大前政彦
入ソ連人員				
隊別計				80
滿洲殘留				
收容所				ホルモリン地區 第三〇四收容所
所人				
死亡				
滿洲ソ連 より				
計				
者数				
状況不明				

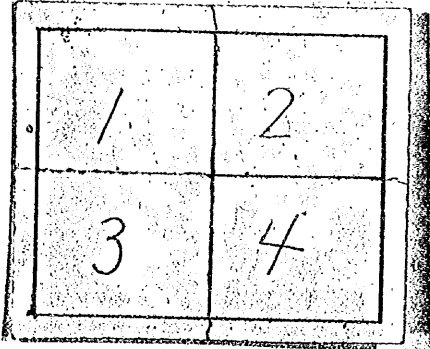
隊中銃機二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第
	見少尉 士木村 藤井	小笠原 茂	見士 石川	大尉 櫻井 辰一	
				陽南	
					<p>南陽附近の陣地警備 八、一五、三軍直轄肉攻大隊として南陽に 警備待機中停戦となり 八、一七、陽南にて武装解除</p>
					<p>九月間島に於て野枝及び下士官兵別々で夜 突撃を武器解除の時鮮果約一〇〇名を捕ら す</p>
					<p>九、三、間島にて 第三大隊編成 長少尉大前政彦</p>

第三〇五編年表

0484

28 V

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0487
0488
0488

				全般概要	所屬
				轉入 十九年以降	第一方面軍第三軍 第七九師團
				轉出 十九年以降	
				編制人員	部隊名 步兵二八九連隊
第八中隊	第七中隊	第三大隊本部	第二步兵砲小隊	別隊	
中尉 佐藤	中尉 德永 見士 重久 同 荒久保	大尉 浦川 副官 中島 少佐		隊長名 (内は先代を示す)	通稱號 奏二一一五二
				開入 戦時 駐屯地 平時 戦時	
				戰鬥間の状況及損耗	郵便所名
			圖 國附近の陸地標案	終戦後の人員變動	
				作業大隊より 入ソ連の變動	入ソ連人員 隊別計
				滿洲殘留	收 收 名 容

歩兵二八九連隊

通稱號奏二一一五二

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	開人 戦時員	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員		満洲残留	收容所			満洲ソ領 より計	帰還人員 計	状況不明 者数
		平	戦時				隊別	計		收容所名	所入	死亡			
大尉 浦川 副官 少佐 中島			園 們	園們附近の陣地構築											
中尉 佐藤															
中尉 徳永 見士 重久 同 荒久保															

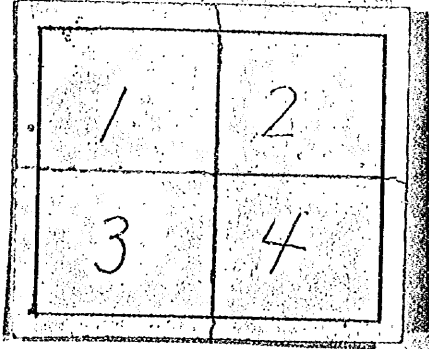
隊中銃關機三第	隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵歩二第
中尉 吉川		中尉 佐藤	中尉 徳永 見士 重久 同 荒久保	副官 大尉 浦川 少佐 中島	
				們 圖	
				國府野原砲臺	

隊中銃關機三第	隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵歩二第
中尉 古川		中尉 佐藤	中尉 徳永 見士 重久 同 荒久保	副官 大尉 浦川 少佐 中島	
				圖	
				圖附近の陸地標案	

0489

2894

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

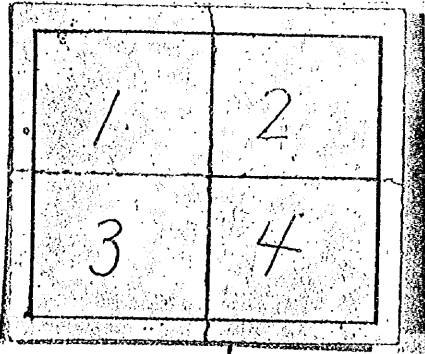
04930
04931
04932
04933

				全般概要	所属
				轉入 十九年以降	第一方面軍第三軍 第七九師團
				轉出 十九年以降	
				員人編	部隊名
隊中砲兵歩	隊中通信	隊業作	隊小兵歩三第	別隊	
		中尉 河野	見土 石川	隊長名 (内は先代を示す)	歩兵第二八九連隊
				關入 戦時 員	
	陽南			駐屯地 平時 戦時	通稱號
				戰鬥間の状況及損耗	
		特攻隊は歩兵一ヶ中隊被破散に出動		終戦後の人員變動	奏二一一一五二一
				作業大隊より 入ソソの變動	
				入ソソ人員 隊別計	郵便所名
				滿洲殘留	
				取	

0494

289 ✓

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0495
0496
0497
0498

所 第一方面軍第三軍
第七九師團

部隊名 歩兵二九〇連隊

通稱號 奏二一一五二

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	編制人員		隊別		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ソ連の變動		隊別計		滿洲殘留		收						
<p>二〇、五、會場にて編成 聯隊本部第二大隊第三大隊 に於て厚手地あり 第一大隊は若年</p> <p>七、二八、森突完了開戦と 同時ハ戦止部隊</p> <p>八月二三日ヨリ三日迄 ハ連隊</p> <p>八、一九、團内にて武裝解除</p> <p>八、二三、軍旗ハ山上にて 撤却</p> <p>八、二六、間島收容所へ</p> <p>九、二二、クラマキ經由入 ソ連將校ハ二機團(三軍 關係將校合併)ハ分れ</p> <p>一〇、中、ハルビン經由 入ソ連</p> <p>一一、初旬、琿春編入</p> <p>終戦後終戦三〇〇名連 隊大隊は(品)大隊大佐クラ マキ收容所三軍關係ハ(三 〇〇名)</p>		<p>二〇、三、七 歩五五補 二二、二六 編一九補 六二 二〇、六、一三 團軍技術教育 山砲七九 歩七四補 現役入隊 百餘、六四 二〇、四、八 羅南兵營區 四</p> <p>二〇、四、一 二〇、四、二 二〇、四、三 二〇、四、四 二〇、四、五 二〇、四、六 二〇、四、七 二〇、四、八 二〇、四、九 二〇、四、一〇 二〇、四、一一 二〇、四、一二 二〇、四、一三 二〇、四、一四 二〇、四、一五 二〇、四、一六 二〇、四、一七 二〇、四、一八 二〇、四、一九 二〇、四、二〇 二〇、四、二一 二〇、四、二二 二〇、四、二三 二〇、四、二四 二〇、四、二五 二〇、四、二六 二〇、四、二七 二〇、四、二八 二〇、四、二九 二〇、四、三〇 二〇、四、三一 二〇、四、三二 二〇、四、三三 二〇、四、三四 二〇、四、三五 二〇、四、三六 二〇、四、三七 二〇、四、三八 二〇、四、三九 二〇、四、四〇 二〇、四、四一 二〇、四、四二 二〇、四、四三 二〇、四、四四 二〇、四、四五 二〇、四、四六 二〇、四、四七 二〇、四、四八 二〇、四、四九 二〇、四、五〇 二〇、四、五一 二〇、四、五二 二〇、四、五三 二〇、四、五四 二〇、四、五五 二〇、四、五六 二〇、四、五七 二〇、四、五八 二〇、四、五九 二〇、四、六〇 二〇、四、六一 二〇、四、六二 二〇、四、六三 二〇、四、六四 二〇、四、六五 二〇、四、六六 二〇、四、六七 二〇、四、六八 二〇、四、六九 二〇、四、七〇 二〇、四、七一 二〇、四、七二 二〇、四、七三 二〇、四、七四 二〇、四、七五 二〇、四、七六 二〇、四、七七 二〇、四、七八 二〇、四、七九 二〇、四、八〇 二〇、四、八一 二〇、四、八二 二〇、四、八三 二〇、四、八四 二〇、四、八五 二〇、四、八六 二〇、四、八七 二〇、四、八八 二〇、四、八九 二〇、四、九〇 二〇、四、九一 二〇、四、九二 二〇、四、九三 二〇、四、九四 二〇、四、九五 二〇、四、九六 二〇、四、九七 二〇、四、九八 二〇、四、九九 二〇、五、〇〇</p>	<p>二〇、六、九 二〇、二〇、二 六七 二〇、六、一三 二〇、六、一四 二〇、六、一五 二〇、六、一六 二〇、六、一七 二〇、六、一八 二〇、六、一九 二〇、六、二〇 二〇、六、二一 二〇、六、二二 二〇、六、二三 二〇、六、二四 二〇、六、二五 二〇、六、二六 二〇、六、二七 二〇、六、二八 二〇、六、二九 二〇、六、三〇 二〇、六、三一 二〇、六、三二 二〇、六、三三 二〇、六、三四 二〇、六、三五 二〇、六、三六 二〇、六、三七 二〇、六、三八 二〇、六、三九 二〇、六、四〇 二〇、六、四一 二〇、六、四二 二〇、六、四三 二〇、六、四四 二〇、六、四五 二〇、六、四六 二〇、六、四七 二〇、六、四八 二〇、六、四九 二〇、六、五〇 二〇、六、五一 二〇、六、五二 二〇、六、五三 二〇、六、五四 二〇、六、五五 二〇、六、五六 二〇、六、五七 二〇、六、五八 二〇、六、五九 二〇、六、六〇 二〇、六、六一 二〇、六、六二 二〇、六、六三 二〇、六、六四 二〇、六、六五 二〇、六、六六 二〇、六、六七 二〇、六、六八 二〇、六、六九 二〇、六、七〇 二〇、六、七一 二〇、六、七二 二〇、六、七三 二〇、六、七四 二〇、六、七五 二〇、六、七六 二〇、六、七七 二〇、六、七八 二〇、六、七九 二〇、六、八〇 二〇、六、八一 二〇、六、八二 二〇、六、八三 二〇、六、八四 二〇、六、八五 二〇、六、八六 二〇、六、八七 二〇、六、八八 二〇、六、八九 二〇、六、九〇 二〇、六、九一 二〇、六、九二 二〇、六、九三 二〇、六、九四 二〇、六、九五 二〇、六、九六 二〇、六、九七 二〇、六、九八 二〇、六、九九 二〇、七、〇〇</p>	3544	第一連	第二連	第三連	第四連	第五連	第六連	第七連	第八連	第九連	第十連	第十一連	第十二連	第十三連	第十四連	第十五連	第十六連	第十七連	第十八連	第十九連	第二十連
隊長 名 (内は先代を示す)		大佐 今堀 充貞 副官 宮下 覺		大尉 高橋 正三		中尉 本間 正		中尉 齋藤 義雄		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ソ連の變動		隊別計		滿洲殘留		收				
戰鬥間の状況及損耗		<p>鐵城に在りて陣地構築 團内ハ同時厚地陣に前進</p>		<p>師団五營若井方面に在り</p>		<p>陣地構築 八、一九、團内にて武裝解除</p>		<p>終戦後終戦三〇〇名連 隊大隊は(品)大隊大佐クラ マキ收容所三軍關係ハ(三 〇〇名)</p>		<p>九月初旬間島にて第二五大 隊編成九月下旬間島發隊奉 經由入ソ連</p>		<p>入ソ連人員</p>		<p>滿洲殘留</p>		<p>收</p>		<p>所 名</p>		<p>容</p>				

歩兵二九〇連隊

通稱號 奏二一一五二

郵便所名

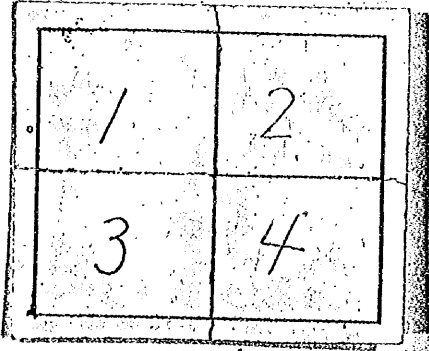
隊長名 (内は先代を示す) 大佐 今堀 充貞 副官 宮下 覺藏	開人 戦時 員	駐屯地 平時 戦時	戰鬥間の状況及損耗 鐵城に在りて陣地構築 開始と同時に地味に前進	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別計	滿洲殘留	收容所 收容所名 一〇月初旬クラス キーラコムソモリ スクより「ド」	所 死亡	歸還人員 滿洲より 計	状況不明 者数
大尉 高掛 正三		團會 們	師團直轄著坪方面に在り	將校は問島教育隊へ收容	九月初旬問島にて第二五大 隊編成九月下旬問島發隊奉 經由入「ソ」						
中尉 本間 正			陣地構築 八、一九、團們にて武装解除								
中尉 齋藤 義雄											

第一機開銃中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	第一大隊本部	進隊本部
大尉 原島 俊助	見士 波多野彦衛 曹長 四方 大泉 益雄	中尉 齋藤 義雄	中尉 本間 正	大尉 高橋 正三	副官 宮下 亮藏
105					
					司令部
					砲隊
北緯塔にて陣地構築中終戦 入隊八名退院し参加 八、一九、國府にて武装解除			陣地構築 八、一九、國府にて武装解除	師團直轄者坪方面に在り	砲隊の臨時隊舎に於て宿舎
八、二三、間島に移動			終戦は間島教育隊隊舎へ移る		
二〇、一一、一二、間島教育 隊本部に留る終戦の頃 兵は九月一五日間島にて第 二三大隊編成に入			九月初旬間島にて第二五六 隊編成九月下旬間島復讐奉 給由入一		
					一〇月初旬クラス キーランロムンモラ スクロムンモラ

0499

290 ✓

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0500
0501
0502
0503

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 步兵第二九〇連隊 通稱號 奏二二一一五二 郵便所名

全般概要		轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		員入制編	
180							
隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第	別隊			
津久井清吉	中尉 中村久五郎	大尉 石橋 秀	中尉 木村 慶司	隊長名 ()内は先代を示す			
				開人			
				駐屯地			
				戦間			
				戦時			
				戦後			
				戦間 六月下旬第三軍令下に入り隨行附近に於て 陣地構築 隨行に於て武装解除			
				終戦後の人員變動	<p>終戦迄に若干あり 終戦は間島下士官教育隊に收容 兵、下士官は隨行より間島に收容</p>		
				作業大隊より 入「ソ」迄の變動	<p>終戦第一梯團一月中旬へ ルレン經由入「ソ」 第二梯團一月中旬運送上 り入「ソ」</p>		
				入「ソ」人員			
				隊別計			
				滿洲残留			
				収容			
				収容名			

步兵第二九〇連隊

通稱號 奏二一一五二

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	開人 戦時員	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員		満洲残留	收容所		歸還人員 満洲「ソ」領計	状況不明 者数
		平	戦時				隊別	計		所人	死亡		
中尉 木村 慶司				六月初旬第三軍令下に入り随時附近に於て 陣地構築 随時於て武装解除	終戦後には若干あり 將校は同島下士官教育隊に收容 兵、下士官は随時より同島に收容	將校第一梯團二月中旬ハ ルビン經由入「ソ」 第二梯團二月初旬豫奉ヨ リ入「ソ」				第一梯團二二月ヨ リ一月の間「ラー ダ」ハ 第二梯團クラスキ			
大尉 石橋 秀				第二大隊以下随時兩方に在り									
中尉 中村久五郎													
津久井清吉													
中尉 丸山 忠雄				間島省和龍縣月暗村三東洞陣地に於て戦斗 遂行中八月一七日停戦 八、一九、随時に移動	將校兵に区分され收容	二〇〇、一一、一〇 間島出發入「ソ」							

隊中銃關機二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第
中尉 木村	中尉 丸山 忠雄	津久井清吉	中尉 中村久五郎	大尉 石橋 秀	
	120				
	<p>高島省和歌山縣月隈村三東洞陣地に於て昭和八年八月十七日停戦 八、一九、四日、陣地を移動 陣地に於て武装解除</p>			第二大隊以下隨行南方に在り	<p>高島省和歌山縣月隈村三東洞陣地に於て昭和八年八月十七日停戦 八、一九、四日、陣地を移動 陣地に於て武装解除</p>
	<p>將校兵に別分され收書</p>				<p>高島省和歌山縣月隈村三東洞陣地に於て昭和八年八月十七日停戦 八、一九、四日、陣地を移動 陣地に於て武装解除</p>
	<p>二〇、二一、二二、二〇 高島省和歌山縣月隈村三東洞陣地に於て昭和八年八月十七日停戦 八、一九、四日、陣地を移動 陣地に於て武装解除</p>				<p>高島省和歌山縣月隈村三東洞陣地に於て昭和八年八月十七日停戦 八、一九、四日、陣地を移動 陣地に於て武装解除</p>

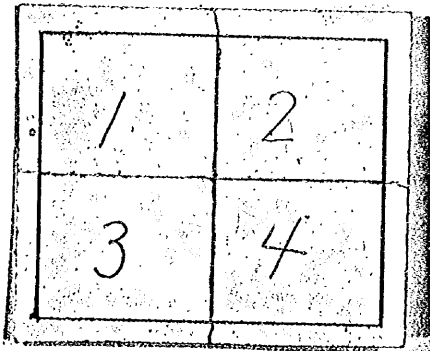
隊中銃開機二第	隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	部 本 隊 大 二 第	隊 小 砲 兵 歩 一 第
中尉 木村	中尉 丸山 忠雄	津久井清吉	中尉 中村久五郎	大尉 石橋 秀	
	120				
					第二大隊以下隨行前方に在り
	高島省和龍縣月野村三東洞陣地に於て戰爭中八月十七日午後八、一九、國境に移動國境に於て武装解除				第一機團一二月中旬より第二機團一二月初旬海軍入り
	將校兵に区分され散る				第一機團一二月一日より一月の間に「ラッダ」ハ第二機團クラスキ
	三〇、一一、一〇 高島出陣入り				

6200

0504

290 ✓

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	